

授業科目名	子ども家庭支援の心理学	担当教員名	藤井 裕子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	子ども家庭支援の心理学は、発達心理学、教育心理学、臨床心理学の基礎的知識をふまえ、生涯発達の観点から心身の発達について学ぶ。乳幼児期から高齢期に至るまでの心身の発達を中心に、支える家庭、地域の専門機関、社会の状況についても学ぶ。保育、教育現場での具体的な事例を紹介し、子どもと家庭を包括的、多面的に理解し支援する方法について学ぶ。さらに脳科学から見た子どもの心の発達についても学び、子どもと家庭に対する専門的知識の習得と支援の実践力を身につけることを目標とする。		
到達目標	(1)生涯発達に関する心理学の基本的知識を習得し、子どもの心の発達とその特徴、年代別の発達課題について理解する。 (2)現代社会における子育て家庭の現状について理解する。 (3)個別の配慮を必要とする子育て家庭について理解し、保育者・教師として適切な支援を実践することができる。 (4)子どもと家族の心の健康の向上に寄与することができる。 (5)親子関係・家族関係を観察し理解したうえで、保育者として適切な支援を組み立てることができる。		
テキスト	「対人援助職のためのこころの科学 基礎と応用」上田敬太他(ふくろう出版,2019) ほかに毎回、プリント・資料を配布する。		
参考書・ 参考資料等	「子ども家庭福祉専門職のための子育て支援入門」才村純他(ミネルヴァ書房,2019) 「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)		
成績評価の方法	理解度・到達度チェック(筆記形式) 50%、課題(レポート、提出物) 30%、受講態度(欠席による減点等)20%		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習は毎回コメントシートを提出する。 オフィスアワー：授業終了後、講師控室に来てください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション、講義の目的と方法、受講の心構え、準備するもの	(1),(2),(3)	
第2回	子どもの心理とその特徴	(1),(2)	
第3回	乳幼児期から学童期の心理的発達	(1),(2)	
第4回	思春期から青年期の心理的発達	(1),(2)	
第5回	成人期から高齢期の心理的発達	(1),(2)	
第6回	現代社会における子どもと家庭への理解	(2)	
第7回	多様な家族関係への理解と支援	(2),(3)	
第8回	子どもをとりまく状況；虐待や貧困の問題	(2),(3)	
第9回	個別の配慮を必要とする子どもと家庭への理解と支援	(2),(3),(4)	
第10回	障害のある子どもへの理解と支援	(2),(3),(4)	
第11回	子どもと家族の心の健康・メンタルヘルスの向上	(4),(5)	
第12回	親子関係・家族関係の観察方法、健やかな親子関係の構築	(4),(5)	
第13回	脳科学から見た子どもの発達とその障害	(4),(5)	
第14回	災害時における子どもと家庭への支援	(3),(4),(5)	
第15回	授業全体の復習、重要ポイントの復習	(1),(2),(3)	